



かめおか 市議会だより



亀岡市観光マスコットキャラクター
明智かめまる

2026年(令和8年)7月31日

特集 若者参加の議会に！

次回の亀岡市議会議員一般選挙が電子投票？

かめきたりバーサイドパーク

発行／亀岡市議会 〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地
TEL(0771)25-5051 FAX(0771)25-6965
電子メール gikai@city.kameoka.lg.jp

亀岡市議会



HP



Facebook



あなたの声が、開かれた議会への第一歩 ～市民の皆さまの声を今後の議会活動へ～

5月3日の「光秀まつり・かめまるフェスタ」で「亀岡市に関する情報をどのような手段で得ていますか?」、「かめおか市議会のFacebookを知っていますか?」の項目について、街頭インタビューを実施しました。
多くの市民の皆さまから貴重なご意見をいただきました。

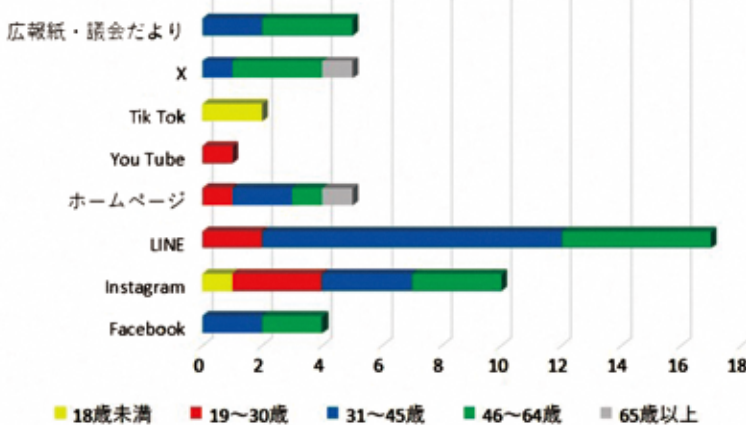
京都・かめおか観光PR大使の
あやほね まや
彩羽真矢さんにも、アンケート
にご協力いただきました。



「亀岡市のFacebookを知っていますか?」の
インタビューに対しては、
「知っている」と答えた人が11名、
「知らない」と答えた人が28名
の回答結果でした。

インタビューの結果については以下のとおりです。

亀岡市に関する情報をどのような手段で得ていますか



その他のご意見

- フェイスブック
- Instagramだけでは若い世代には情報が届きにくい
- InstagramやTikTokなどで議会情報を発信してほしい
- 議会だよりで何が話されているのか知りたい
- 議会だよりを読む機会がない
- 子育て世代にも届く情報発信をしてほしい

今後の取組

- Instagramなど新たな情報発信手法の研究・検討
- 分かりやすく親しみやすい議会情報の発信
- 議会だよりとSNSを連携した情報発信の充実
- 子育て世代を含む幅広い世代への情報発信

議会広報広聴ストーリー「あの件どうなったのシリーズ」

《令和7年度開催の子ども議場見学会の参加者》より

- 「中学校給食はいつから?」の追加回答
⇒令和8年6月議会でスケジュール予定が出されたよ。
- ・プロポーザル方式で事業者の優先交渉権者の決定をするよ(令和8年7月)
- ・新給食センターの維持管理・運営が開始予定だよ(令和11年1月～)
- *育親学園の維持管理・運営が開始予定だよ(令和9年9月～)

皆さんの声を反映

市民のご意見・ご提案から議会運営に生かした点を「あの件どうなったの?」として今後もお伝えしてまいります。



かめまるくんと しんがくんの 議会とーく

さっそく本会議や委員会を熱心に傍聴してくれたよ。
モニターの皆さんから、新鮮な気づきや率直な意見を届けてもらって、身近で開かれた議会へつなげていくんだよ。

【16ページへ】



石田梅岩イメージキャラクター しんがくん

議会モニター制度も今年で3年目!今回の新メンバーにとっては、これが初めての議会だね。



亀岡市観光マスコットキャラクター 明智かめまる

あなたの視点で議会が変わる!
新・議会モニター活動開始

他にも、将来に向けた予算の約束(※債務負担行為)も決まったんだ。具体的には、かめおか児童クラブを民間企業に委託して、さらに充実させたり、新しい学校給食センター整備の準備を進めたり。これまでの課題を克服し、一歩前進するために動き出すよ。

【3・6ページへ】



今回、4億470万円を追加する補正予算が決まったよ!
例えば、来年1月の市議選に向けて、本市初となる「電子投票」の導入や、ふるさとバス(別院コース)を「公共ライドシェア」へと転換する事業が進められるんだ。

ところで、6月議会はどんな内容だったの?



市民の暮らしを応援する補正予算が決定!
未来への投資を加速

本当だよ。小学6年生のみんなが授業で一般質問を傍聴しに来てくれたんだ。真剣なやり取りをじっと見つめる目が、キラキラ輝いていたよ!高校生が熱い思いを込めておこなった請願の意見陳述にも、議員みんなが真剣に耳を傾けていたよ。

【4・7ページへ】



6月の議会は、いつも以上に活気があふれていたって本当!



※債務負担行為とは…

予算は本来「1年ごと(単年度)」に決めるのが原則だけど、複数年にわたる事業を安心して進められるよう、「あとで払うお金」をあらかじめ約束しておく仕組みのことだよ。



わあ、未来の主役たちが大活躍だね!議会が一気に身近に感じられるね。



議会に吹く新しい風〜小学生・高校生が議会へ〜

未来の有権者が議会を体験！

西別院小学校の皆さんが一般質問を傍聴

西別院小学校の6年生が、社会科見学の一環として6月議会の傍聴に訪れ、一般質問を行う議員と市長をはじめ、理事者との真剣なやりとりを見学し、本会議を体験しました。

亀岡市議会では未来を担う児童生徒の皆さんの傍聴を心よりお待ちしております。



本会議を傍聴して

- ・ 給食や環境の話をしていて、私たちの暮らしを支える話し合いの場だと知ることができた。
- ・ 市議会があるので、私たちは安全に暮らせるのだと思った。
- ・ これからもみんなが安全に過ごすために市議会が話し合っている。
- ・ 市民の声を聞いて質問をしていることに驚いた。
- ・ 市議会は、市民のことを考えて情報を共有する場所なのだと思う。
- ・ 市民の要望や課題を解決するためにも市議会は必要だと思った。
- ・ 市議会は、問題が起きないように話し合いもしていて、市民のために色々考えていることがわかった。
- ・ 質問者と回答者の席が工夫されていて、話の内容に深い意識が持っていた。
- ・ 議会で学んだことを生かして、西別院町を盛り上げたい。

高校生が請願の意見陳述に挑む

学校に行っていない子と親へのさらなる支援の拡充を求める

請願をしたのは東京都在住、(公財)あすのば子ども・若者委員会に所属する岩浪琉斗(いわなみりゅうと)さん(高校生)さんです。



岩浪琉斗さん(写真右側)

請願の要旨

学校に行っていない子どもと保護者が「居場所」につながっていない現状、既存の支援では孤独感を抱える困窮世帯にとって不十分であると考え、さらなる支援の拡充を求める意見陳述が行われました。



請願の全文はこちら

※後の本会議において、全会一致で採択となりました。

請願とは？

市政に関することなど、皆さんが直接市議会に要望できる制度です。

6月議会トピックス

各委員会の行政視察報告

亀岡市議会の各常任委員会は、行政視察を行い、他市の先進的な取組や実践例を幅広く学んでまいりました。多岐にわたる知見を持ち帰り、今後の亀岡市の施策に反映します。

各委員会できりとまとめた調査内容や考察については亀岡市のホームページに掲載します。

議会運営委員会

4 / 21 ~ 22

- 【愛知県岩倉市】
- 「議会サポーター制度について」
- ・ 本市、議会モニター制度の発展に向け、募集方法や活動内容、市民の意見を議会運営に反映する先進事例を調査。
- 【静岡県島田市】
- 「議会改革の取組について(主権者の参画)」
- ・ 本市、議会モニター制度の発展に向け、募集方法や活動内容、市民の意見を議会運営に反映する先進事例を調査。



環境市民厚生常任委員会

5 / 18 ~ 20

- 【広島県呉市】
- 「子育て支援手続きWeb申請化事業について」
- ・ デジタル格差が生じにくい子育て世代を対象とした各種子育てに係る手続きのWeb申請化事業の運用方法や導入後の効果について調査。
- 【広島県江田島市】
- 「助け合い交通」に係る取組について
- ・ 高齢者が安心して外出できる支援策を検討するにあたり、「助け合い交通」の運営形態や利用実態などを調査。



各委員会の詳細はこちら



総務文教常任委員会

5 / 25 ~ 27



- 【岡山県総社市】
- 「不登校を減らすための有効な支援の取組について」
- ・ 不登校になってからの「事後対応」だけでなく、発生させない「未然防止」に主眼を置いた「マルチレベルアプローチ(包括的生徒指導)」の視点による、「誰もが行きたくなくなる学校づくり」の取組を調査。
- 【広島県竹原市】
- 「放課後児童クラブの民間委託について」
- ・ 放課後児童クラブの民間委託における導入経過や選定方法、民間ノウハウによるサービス向上と効率的な事業運営の取組を調査。



産業建設常任委員会

5 / 11 ~ 13



- 【宮城県大崎市】
- 「ジビエ食肉処理加工等施設について」
- ・ 廃校になった小学校を改修しジビエ食肉処理加工等施設の整備経緯、運営体制、販路開拓、地域ブランド化の取組を調査。



- 【栃木県小山市】
- 「有機農業の推進について」
- ・ 持続可能な有機農業の先進的な取組「ふゆみずたんぼ」「なつみずたんぼ」の環境共生型生産を調査。
- 【徳島県環境技術研究所】
- 「バイオ炭を生成し、燃料や土壌改良材等に活用する炭化特許技術を調査。」



本会議での討論

討論の内容はこちら→



議員名	件 名	賛成 / 反対
大西 陽春 議員	亀岡市循環型社会推進条例の一部改正	反対
小林 仁 議員	令和8年度一般会計補正予算（第1号）	賛成
三上 泉 議員	令和8年度一般会計補正予算（第1号）	反対

全員賛成で可決した議案

各議案の内容などは、亀岡市ホームページに掲載しています。詳しくはこちら →



付託先	件 名	結果
総務文教常任	亀岡市いじめ調査委員会条例の一部改正	可決
	亀岡市の議会の議員及び長の選挙における電磁的記録式投票機を用いて行う投票に関する条例の制定	//
	亀岡市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	//
	〔仮称〕キッズステーションかめおかリニューアル工事（建築）請負契約の締結について	//
厚生常任	〔学校に行っていない子と親〕に関する請願	採択
	（報告）亀岡市税条例及び亀岡市都市計画税条例の一部改正	承認
	亀岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び亀岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決

付託先	件 名	結果
環境市民	京都地方税機構規約の変更について	可決
産業建設	亀岡市都市公園条例の一部改正	//
付託省略	副市長の選任	同意
	公平委員会委員の選任	//
	農業委員会委員の任命	//
	決算特別委員会の設置について	設置



※右上のQRコードを読み取ると、
請願内容、議案に対する賛否の詳細など
を見ることが出来るよ。

賛否の分かれた議案

○賛成
×反対、態度保留など



各議案の内容は、
亀岡市ホームページに
掲載しているよ。



各議案の内容は、
亀岡市ホームページに
掲載しているよ。

付託先	件名・結果	会派名 議員名	新清流会						経政会				躍動～輪の風～				北星志士の会			共産党議員団			公明党議員団		
			法貴隆司	小林仁	大石慶明	福井英昭	菱田光紀	西口純生	大塚建彦	浅田晴彦	平本英久	齊藤一義	竹内博士	梅本靖博	土岐新	松山雅行	原野美生子	山木裕也	木村勲	大西陽春	片山輝夫	三上泉	林徹司	富谷加都子	山本由美子
総務文教 環境市民厚生 産業建設	令和8年度一般会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○		
環境市民厚生	亀岡市循環型社会推進条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○		
	医療・介護労働者の処遇改善実現に 必要な財政措置を国に求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×			

※小川克己議員は、議長職のため表決権はありません。

人事関係

◆次のとおり人事議案に同意しました。

【亀岡市副市長】

ひさし 尚司 氏

【亀岡市公平委員会委員】

うへだ 清和 氏

にしだ 稔 氏

ひとみ 順子 氏

【亀岡市農業委員会委員】（19名）

ほりい やすこ せき あつよし ぼりした こうじ かんざき わたる まつもと たかゆき さとう ひろし や ぎ ひでかず
堀井 恭子 氏、関 徳義 氏、堀下 孝次 氏、神崎 弥 氏、松本 孝之 氏、佐藤 浩 氏、八木 秀和 氏、
くさかべ きんや つじむら むねはる しばた よしひろ の だ のりかず わたなべ たけし またの ひろゆき
日下部 金弥 氏、辻村 宗治 氏、柴田 好浩 氏、野田 典和 氏、渡邊 武 氏、俣野 浩幸 氏、
なかざわ かずゆき たなか つとむ おがわ ふさつぐ かつら かずひこ いづ さとる やまぐち いたお
中澤 和幸 氏、田中 勤 氏、小川 房嗣 氏、桂 一彦 氏、伊津 哲 氏、山口 逸男 氏

総務文教常任委員会

一般会計補正予算（第1号）可決（賛成多数）

○児童クラブ、来春から一部民間委託へ

児童クラブ運営業務委託経費
（令和8年度～11年度）
限度額15億円

公設としての責任や施設を維持しつつ、民間のノウハウを活用してサービスの質や多様性を高め、効率的で安定した児童クラブの運営業務において、計画的な事務執行を図るため、債務負担行為を設定するものである。

【主な質疑】
問 民間委託後の支援員などの雇用及び処遇は。
答 新たな職場での継続雇用を基本とし、給与や休暇などの勤務条件は現状維持を原則とする。その後の昇給は事業者の判断となるが、市としては昇給分も考慮した委託料を設定している。

○来年1月の市議選で電子投票を実施

市議会議員選挙経費
4015万1千円増

有権者の利便性向上や開票事務の迅速化、無効票の削減、自筆困難者の投票支援、若年層の関心を高めることを目的に、来年1月執行予定の亀岡市議選において、電磁的記録式投票（電子投票）を実施する。

【主な質疑】
問 市民への啓発は。
答 商業施設やイベントなどへ機器を持ち込み、実際に体験できるような機会を設ける。
問 電子投票を取り入れる意義は。
答 開票時間の短縮や働き方改革など多くのメリットがあり、費用対効果が見込める。

環境市民厚生常任委員会

事業系ごみや粗大ごみの資源化へ

亀岡市循環型社会推進条例の一部改正
可決（賛成多数）

家庭系及び事業系一般廃棄物並びに粗大ごみを市の指定する処理施設へ直接搬入する際の手数料を改定するための条例の一部改正を行う。処理費の増大への対応や他自治体からの不適正な粗大ごみ持ち込みの未然防止に加え、これまで市民の協力のもとに進めてきたごみの分別の取組を、さらに事業系一般廃棄物の減量・資源化へ広げていくことを目的として、今回、大きく2つの見直しを行うものである。

①家庭系及びその他の一般廃棄物の処理手数料を現行の10キログラムにつき180円から360円に改定する。
②粗大ごみの持ち込み処理手数料について、令和5年の手数料改正以降、ごみの量が増加傾向にあるため、資源化による減量を促すとともに近隣自治体との均衡を図るため、現行の10キログラムにつき180円を1回の搬入量が50キログラム以下の場合1000円とし、50キログラムを超える分については10キログラムごとに400円を加算する料金体系に改める。

【主な質疑】
問 他自治体の粗大ごみ搬入手数料の状況は。
答 京都市は100キログラム以下1500円、船井衛生管理組合は50キログラム以下990円である。
問 市外からの搬入時のチェック体制は。また、不正な持ち込みを判別できるのか。
答 本人確認をした上で監視員による目視チェックをおこなっており、過去に指導事例もある。悪質な事例には法律に照らした対応を検討する。

産業建設常任委員会

一般会計補正予算（第1号）可決（全員賛成）

○持続可能な公共交通を目指して

バス交通関連経費
3568万円増

バス事業を取り巻く運転士不足等による交通空白を防ぐため、ふるさとバス別院コースの代替交通として公共ライドシェアを導入するため、要する経費を増額する。

【主な質疑】
問 公共ライドシェアで導入する車両は何台か。
答 10人乗り3台を予定している。
問 利便性の観点からフリー乗降区間を設定してはどうか。
答 亀岡市地域公共交通会議、亀岡警察署、道路管理者との協議を踏まえ、柔軟に対応する。

○新たなふるさと製品の創出支援

商工業振興対策経費
1億758万6千円増

ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを実施し、新たなふるさと製品の創出や既存製品の増産などに取り組む事業者を支援するために要する経費を増額する。

【主な質疑】
問 補助制度の仕組みは。クラウドファンディング額の50%を原資に、事業にかかる初期費用等に対して補助する。
問 目標額に達しない場合はどうするのか。
答 不足分を事業者が負担し、事業を継続することを補助条件としている。
問 新たな雇用の創出は期待できるのか。
答 新工場を建設する事業者もあるため、新たな雇用につながるよう働きかける。



6月議会では、23人の議員が一般質問(※)を行いました。その主な問答の要旨について各議員の要約原稿を掲載しました。(文責は各議員にあります。)なお、他の質問項目については、亀岡市議会ホームページでご覧いただけます。

(※) 一般質問とは、議員が市の行政全般にわたり執行機関に対し、事務の執行状況や方針などを質問することをいいます。議長は、一般質問を行います。

傍聴のご案内とインターネット中継

亀岡市議会の本会議を議場でご覧いただくこと(傍聴)ができます。

○本会議当日に市役所8階議場までお越しいただき、傍聴席に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。

○亀岡市議会では、必要に応じて手話通訳などに対応しています。(※事前申し込みが必要)手話通訳などをご希望される場合は、会議の1週間前までに議会事務局にご相談ください。

○発熱されている方、体調不良の方は傍聴をご遠慮ください。

※インターネットでも本会議のライブ中継・録画をご覧いただけます。

亀岡市議会 議会中継

検索

※議員の写真右下部を読み取ると、その議員の動画と会議録を見ることができます。

3〜5歳児の主食持参廃止へ！



松山 雅行 議員

松山 3歳以上の保護者にも主食の持参を求めず、保育施設側で提供できないか。

こども未来部長 3歳以上も含めた全園児への主食提供について

SOS相談アプリ導入へ！

松山 先生や学校に直接話せない児童生徒が、匿名でいじめの報告や個別相談、学校に関しての悩みなど、直面している悩みの声を幅広く拾うチャネルが必要である。児童生徒に配布しているタブレットを活用し、匿名でSOSの相談や

では、現場の負担もある。実現するためには設備や人員体制の整備が必要だが、今年度から3年かけて、主食提供を見据え、調理室を改修し提供を計画していく。各園の園児数などの状況によっては、主食の外部搬入や委託の選択肢も視野に入れながら、主食提供を実施していきたいと考えている。

報告ができるアプリを導入してはどうか。

教育長 学習用タブレットに報告・相談アイコンを作成するなど、学校や関係機関と連携を図りながら今後も児童生徒にとって報告や相談のしやすい環境づくりを一層努める。

桂川西工区の橋梁工事および右岸道路について問う



木村 勲 議員

木村 ①橋の南北の接続部の工事予定は。②市道保津宇津根並河線との接続部の道路幅は。③千代川町川関まで延伸予定の桂川右岸道路の構想は。

産業観光部長 ①北

JR亀岡駅北の巣塔設置の進捗は

木村 ①大阪・関西万博大屋根リングの部材を使った巣塔設置の進捗は。②市の鳥コウノトリの保護活動は。

全国都市緑化フェア推進室長 ①建設予定であったが、文化

側は、ほ場整備の農道と接続し、今年度夏頃を予定。南側は、市道への接続となり、本年度末頃を目指す。②約5メートルで接続する計画で、将来的には市道を拡幅予定。
まちづくり推進部長 ③川関から宇津根橋南詰まで約3.5キロメートルが整備区間で、促進協議会などと協議を進め、財政確保にも努める。

庁への相談やアユモドキの専門家の意見を聞く中で、共存が難しいなどの指導があり、今回、巣塔設置を断念した。
環境先進都市推進部長 ②ネイチャーポイントタイプ実現を目指し保護・保全を進める。

国民健康保険料引き下げのために、法定外繰入れを実施すべきでは



大西 陽春 議員

大西 2年連続引き上げで大変である。法定外繰入れを行わないのはなぜか。

市民生活部長 受益

DBO方式でも、亀岡らしい質量ともに豊かな給食を

大西 新給食センターのプロポーザルの進捗状況は。

市長 複数の事業者から提案書が提出された。今後、選定委員会で審査を進める。

大西 大量調理のセンターでは、細かな配慮が難しくなるのではと考える。食数

者応分負担の考えから、赤字補填のために一般会計から法定外繰入れを行うことは、基本的に認められていないため。

大西 基本的に認められていなくても、法定外繰入れを実施している自治体が京都府内にある。本市も検討するべきと考える。

が少ない丹波篠山市の給食の品数は充実している。献立表の工夫について所見は。

市長 写真を載せるなど分かりやすく示していきたい。

大西 よりよい給食に向け、事業者選定を慎重に行うべき。

緊急通報装置設置の対象緩和を



富谷 加都子 議員

富谷 緊急通報装置設置の要件に扶養義務者が近隣にいないことが挙げられている。緊急リスクと近居は別次元と考えるが要件緩和の考えは。

健康福祉部長 一定の基準は設定しているが、申請いただいた際には、本人や家族の状況を十分に考慮した上で柔軟に対応している。

富谷 要件に記載がある以上、申請手前で断念される方もいる。さらに、月額1000円の自己負担も導入しているが要件緩和の考えは。

健康福祉部長 案内に扶養義務者が近隣に居住していないことと記載していたが、現状の取り扱いに合わせて改正する。

富谷 他市では、65歳以上の一人暮らしや高齢者世帯など条件が緩和されている。命を守る投資として本市でも本事業の条件緩和の英断を求めるが所見は。

市長 自己負担もさされていることから、近親者がいたとしても、70歳以上の高齢世帯が本制度を利用できるようにしてもよいと考える。組織で検討し、返答したい。

富谷 次期議会にて、市民に要件緩和を示していただけるよう、お願いする。

今、だれもが行きたい学校づくりが求められている



小林 仁 議員

小林 本市「まなび」の保障構想の不登校に対するアンケート調査では「学校へ行きたかった」との回答が半数近くある。多様性という名のもとで学びが放置されていないか。

教育長 原因や背景を把握することに加えて学びの選択肢、まなびの環境整備を行

ききよの里に活気を

小林 運営者の高齢・過疎化により、人員不足である。にぎわいのあるまちに変貌できないか。

い、自ら学ぼうと思える意欲が高まる学校づくりに注力する。
小林 不登校対策として「だれもが行きたくなる学校づくり」の構想があり、他市では成果を上げている。本市にはこの構想が入っているのか。

教育長 構想の中核的な要素として、位置づけられており、児童生徒が互いに守るような体制を整備するなど、主体的に取り組める環境づくりを示している。

市長 公園的な要素のある緑地であり、農業公園的な意味合いも含めて、地元とも協議を進めていきたい。

社会を明るくする運動のイエローライトアップ啓発活動の拡充を



浅田晴彦 議員

浅田 保護観察協会や保護司会が積極的に取り組んでいる「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人たちの立ち直りを支援する全国的な啓発活動である。毎年7月を強化月間とし、期間中はシンボリックな活動の一つとしてイエローライトアップが京都府内各地域で実施されている。本市も期間中に保津橋でイルミネーションをイエローライトアップできないか。

浅田 本運動に賛同し、平和の塔でイエローライトアップを実施できないか。

まちづくり推進部長 本市も7月は強化月間としており、新たに平和台公園の平和塔を黄色にライトアップを実施する。

演出プログラムの再設計及び専門業者



指定地域共同活動団体の親和性と必要性は



梅本靖博 議員

梅本 ふれあい収集及びめぐるステーション事業と、指定地域共同活動団体との親和性についての考えは。

市長 地域交流や見守り、健康づくり、子育て支援など、横断的に支える可能性

ローカル・ゼブラ企業の視点を踏まえ、た人材育成と産業創出へ向けて

梅本 ローカル・ゼブラ企業の創出も視野に入れ、人材育成から実証実験、収益化までをつなぐ総合的な戦略を構築する考えは。

があり、地域の支え合い活動との親和性が高いと考えている。

梅本 指定地域共同活動団体制度を活用した住民主体の地域運営モデル構築に対する本市の見解は。

市長 地域課題に対し、本制度は地域の支え合いを維持する有効な手段と認識し、移動支援や管理などの多面的な取組を通じて地域運営を支える可能性がある。

産業観光部長 本市には、OICKやONEかめおか、行政連携による支援基盤があり、ローカル・ゼブラ企業を創出しやすい環境が整っていると考える。

鳥獣被害対策の構築に向け、必要地域への懇談の場創設と現状把握を



原野実生子 議員

原野 防護柵を設けても動物が入る現状を危惧するが所見は。

市長 防護柵の継続的な維持管理の上、防護柵のみで被害を防ぐことが難しいため、鳥獣の捕獲、駆除による個体数管理、追い払いなどの対策と組み合わせ、複合的に進めることが効果的である。

原野 柵以外の鳥獣被害対策はあるのか。

市長 わな猟免許を取得して有害鳥獣捕獲に従事していたことが所定の講習を受講し、動物駆逐

用煙火を使用し、サルを追い払うなどの取組がある。これらの資格取得や講習受講費用の一部補助、動物が嫌がる音や光を発する撃退器を貸与している。

原野 地域で様々な立場の方が農業を行い、地域の農業を守っておられる。まずは地域の農家組合長を集めての現状把握に加え、地域ぐるみで国の交付金を使い、ほ場に防護柵を設けることを行政から働きかけてはどうか。

市長 鳥獣被害については農業者だけではなく、地域、狩猟免許を持つ方々や行政が連携し、行政が中心となって地域の実情に応じた枠組みをつくるのが大切である。

今こそ、平和学習の継続とさらなる充実を！



片山輝夫 議員

平和学習は継続・充実すべきと思うが所見は。

片山 平和教育について、同志社国際高校の辺野古学習を文部科学省が、教育基本法違反としたことで委縮しないか不安の声がある。本市の

イラン戦争による資材不足に苦しむ市民に、市独自支援策の実施を

片山 イラン戦争による石油関連資材不足により、様々な分野で影響が出ている。①市内の実態把握は。②物価高騰などの緊急支援策の実施は。

健康福祉部長 ②市民生活は厳しい状況であり、現行支援制度の実施と国の経済対策の動向を注視していきたい。

高校生の主体性と自由な発想を生かしたまちづくりの取組を！



林徹司 議員

林 高校生議会や、まちづくりに高校生が参画できる取組を導入してはどうか。

政策企画部長 高校

地域がつながる学校教育の環境整備の推進を！

林 東輝中学校で行われる長寿命化改修や給食に対応の整備事業を活用して不登校生徒の拠点となる校内支援センターと、自治会から要望がある多目的ホールを設置してはどうか。

教育部長 学級に入りにくい生徒が段階的に学校生活に慣れ

生の柔軟な発想や行動力は、未来志向のまちづくりににおいて重要な要素だと認識している。地域のまちづくりに関わる経験は、地元への愛着や将来の定住につながる。ことから、高校生が参画する機会を設けたい。今後、市内2校との連携のさらなる推進に努める。

るため、効果的な居場所となる校内支援センターの充実を図る。また、子どもたちの多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境整備は、長寿命化改修の目的でもあり、地域連携の好事例もあることから学校と協議して検討したい。

震災時の通電火災防止に向け、感震ブレイカー設置補助を



大石慶明 議員

大石 地震に伴う火災発生原因の過半数以上が通電火災と言われている。通電火災防止に威力を発揮する感震ブレイカー設置の必要性が増している。京都市をは

地域包括ケアシステムの充実化を

大石 高齢者の介護・福祉・医療などを支援するため地域包括支援センターを設置しているが、さらなる充実を図るため地元医師会、薬剤師会などを中心とした在宅ケアシステムを構築するべきではないか。

はじめ、各自自治体で設置補助金の支給に取り組んでいる。本市で取り組む考えは。

市長 感震ブレイカー設置は高額なケースから簡易機器まで幅があり、価格に応じて設置内容を検討できるため、市民の負担を強いまいと考える。今後、他市の導入状況を踏まえ検討する。

健康福祉部長 本市では、亀岡市地域医療・介護・福祉連携推進会議を設置し、医師会・歯科医師会・薬剤師会・公私立病院などと連携して地域医療の日常的な課題解決に取り組んでいる。引き続き安心して暮らしていただくよう取り組む。

修学旅行の安全確保と政治的中立性は



大塚 建彦 議員

大塚 小・中学生の平和学習は戦争の悲惨さを教える重要な教育だが、学校には政治的中立性が求められる。語り部やガイド、民間団体の関係者を起用する際、政治的中立性や教育的公平性をどのように担保しているのか。

地域限定保育士制度導入の考えは

大塚 全国的に保育士不足が深刻化しており、国は保育士不足解消に向け、本制度の導入を推進しているが本市の考えは。こども未来部長 待

自治会だけに頼らない地域づくりへ



土岐 新 議員

土岐 自治会加入率の低下や役員不足が進む中、持続可能な地域づくりには自治会だけに頼らず、行政・学校・企業・NPO法人など多様な主体が連携する仕組みが必要である。デジタル化支援や地域行事の継承、新住民の参加促進について市の考えは。

部活動地域展開でも教育的価値を守る

土岐 部活動の地域展開により、地域間格差や人間形成の機会が失われないよう教育的価値をどのように維持するのか。小学校でのスポーツ・文化芸術の体験機会や地域指導者の確保について見解は。

亀岡の花火大会はどうなるの？
地域の花火で子どもの夢を形に



山木 裕也 議員

山木 従来の大規模集中型だけではなく、自治会や地域団体などが主体となつて開催する公募型・分散型花火大会に対する支援について、どのように考えているのか。

なぜテニスコート、体育施設はスマホQR決済できないのか？

山木 QRコード決済やオンライン決済を導入し、テニスコートやグラウンドなどの現地でQRコードを利用して、スマートフォンで予約から決済まで完結できる仕組みを導入してはどうか。



保津川右岸に多目的運動場や広場を



三上 泉 議員

三上 亀岡東部地域は、子どもの数が多いのに運動場や広場がほとんどなく、スポーツクラブも狭い学校の運動場を借り合っている。地元も多目的広場や

だれもが行きたくなる学校にしよう

三上 不登校を未然に防ぐ取組に本腰を入れた総社市に習い、全ての学校・園で取組を開始するよう支援するべきではないか。

教育長 大変参考になると考えるが、現状は全ての学校で取り組めておらず、本



高次脳機能障害者支援法の施行に伴い、理解促進と切れ目ない支援を



山本 由美子 議員

山本 脳卒中や事故などで脳が損傷し、認知機能や精神機能に障害が出る「高次脳機能障害」は、外見から分かりにくい

ため周囲の理解が得られず、日常生活や社会生活に困難を抱えているとの指摘がある。障がいの特性

持続可能な公共交通へ官民連携で住民に寄り添う移動の確保を

山本 ふるさとバス別院コースを公共ライオンシアターへ転換する方針が示された。住民から寄せられたJR亀岡駅への直通路線の確保やフリー乗降区間の拡充、小回

に関する理解を深めるため、市民への周知・啓発を行うとともに、関係機関と連携した相談体制を整備する取組は。

健康福祉部長 広報誌やSNS、講演会などで周知・啓発に努める。相談体制は京都府の高次脳機能障害者支援センターや医療機関と連携を図り、センターが行う研修なども活用し、職員や相談員などの専門性を高める。

りの利いた経路設定を望む声に対し、実現可能性はどうか。

市長 亀岡市が運行形態を決められるので、要望の内容は前向きに検討していく。

脱炭素社会の実現に向け、未利用バイオマス資源の利活用を！



法貴 隆司 議員

法貴 本市における間伐材、もみ殻、剪定枝などの未利用バイオマス資源の現状把握と利活用の状況は。

環境先進都市推進部長 森林整備に伴い

南郷池の自然環境保全を！

法貴 南郷池は多くの市民に親しまれる本市を代表する貴重な自然環境であるが、放置された釣り糸やルアーによる野生生物への被害が問題となっているが本市の認識は。

市長 本市の豊かな生態系を保全する責

戦時中のウクライナ訪問を経て恒久
平和になにを想うのか



平本 英久 議員

平本 現在も戦時下にあるトルスカヴェーツ市への訪問目的と市内や市民生活の状況は。また、今回の訪問を通じて、今後の国際的な市民交流の在り方についての見解は。

市長 大阪・関西万

ナフサ不足による亀岡市の指定ごみ袋への影響は

平本 ナフサ不足による指定ごみ袋の不足、品質低下などへの影響は。

環境先進都市推進部長 指定ごみ袋はインク部分を除きナ

子育ての基盤でもある「産後ケア」事業の広域連携が必要なのは？



竹内 博士 議員

竹内 子育てしやすいまちづくりには産後ケアの充実が欠かせない。府県境に位置する亀岡市では、生活圏を踏まえた広

どうする？放置空き家は増える一方
常設フンストップ窓口の検討は？

竹内 放置されたままの空き家が増えていく。空き家になる前から気軽に相談できる体制づくりが重要である。相談窓口を一本化し、相続や登記、管理、活用、移住、二地域居住まで一体的につながる官民連携型の常設フンストップ窓口を検討するべきでは。

まちづくり推進部長 関係課や関係団体と連携し、関係人口の創出や移住促進につながる相談窓口の設置について検討していく。また、市役所の空き家バンクの窓口と移住や二地域居住担当の窓口の一本化についても協議していきたい。

喫緊の課題・北陸新幹線亀岡ルート誘致、奇跡を起こす決断と行動を



西口 純生 議員

する重要事業である。整備が長期化すると、関西の人口・経済力低下を招く恐れがある。京都経由は二極集中を助長するため、早く・安くつながる亀岡ルートの優位性を訴え、要望活動を進めていく。

西口 当時の内閣総理大臣、田中角栄氏は、東海道線の交通網が災害などで寸断された場合の対応策として、東京駅から小浜を経て新大阪駅へ至る北陸新幹線の亀岡ルートを一直線に線引きし、早期完成・経費節減・最短距離という構想で計画を示した。本市はこの事業の誘致に40年にわたり取り組んできた経緯がある。7月に迫ったPT会議を前に、果敢な決断や具体的な行動など計画実現に向けた市長の考えは。

市長 地方創生に資する重要事業である。整備が長期化すると、関西の人口・経済力低下を招く恐れがある。京都経由は二極集中を助長するため、早く・安くつながる亀岡ルートの優位性を訴え、要望活動を進めていく。

亀岡農業者の所得向上について問う



齊藤 一義 議員

齊藤 有機農産物を活用したヴィーガン食品の開発が地域の有機農業者の増加につながるのか。

市長 株式会社京善と締結した包括的連携協定では、今後大きく伸びると想定される、有機農産物を活用したヴィーガン食品の開発をはじめ、市内産有機農産物を原材料とした加工品や付加価値の高い商品開発につな



ヴィーガン料理

齊藤 ローカル・ガストロノミーツアーリズムと、オーガニック食やヴィーガン食提供店巡りツアーの「亀岡フードツーリズム」の考えは。

市長 有機農業には、本市観光振興の可能性があると認識しており、今年の10月には、亀岡の有機農産物を使った「食の熱中小学校」というツアーを予定している。また、滞在型観光を満喫できる環境整備に向け、農業・食・観光が連携した地域経済活性化の取組を進めながら亀岡ならではの食の魅力発信に努める。

新火葬場は、計画どおり建設することができるのか



福井 英昭 議員

福井 30数年前に都市計画決定されたが、計画が頓挫した経緯は。

市民生活部長 周辺住民から計画取り消しの訴訟があったが、亀岡市が勝訴した。

福井 その後、約20年、新たな審議会を経て、取り組み始めたが、ここ数年停滞していた。その原因は何か。

市民生活部長 市が所有している土地と周辺土地との境界確定に時間がかかったが、これも完了できた。



新火葬場予想図

福井 似たような原因で時間がかかっている。本当に完成できるのか。元の下矢田町や大井町の若宮工場跡で検討しては。

市民生活部長 都市計画決定したのものであり、余部町丸山で事業を進める。

福井 問題の解決を待っているのは遅く、需要のピークに近づいては意味がない。まずは外堀から埋めてはどうか。

市民生活部長 本年度、水利や道路の取り合いなどを含め、周辺部の調査を始める。

城下町地区のまちづくりと観光も含めた行政支援をどのように進めるか



菱田 光紀 議員

菱田 令和4・5年度に実施した伝統的建造物群保存対策調査の結果は。

市長 旧城下町のまちづくりやその価値を次代に引き継ぐために実施した。江戸時代の記録と比べて約7割もの地割線が残ると分かった。寺社などには江戸時代後期の建物もあり、柳町集会所、本町カフェが国の登録有形文化財に登録された。

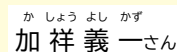
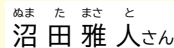
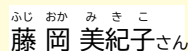
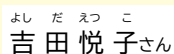
菱田 統一感のある町並み形成の実現に向け行政の支援が必要だと思うが所見は。

菱田 制度の活用が進むように補助制度の拡大が必要では。

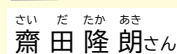
市長 社会情勢や地域の実情を踏まえ、より効果的な支援を検討し、できれば増額を目指したい。

菱田 本年3月に歴史まちづくり法が改正され、まちづくりと観光行政の連携強化が追記されたが本市でも可能か。

市長 国のまちなみ環境整備事業がある。住民の合意形成が不可欠だが様々な補助制度適用が可能になる。



令和8年5月25日に委嘱状交付式が行われ、小川議長から委嘱状が手渡された後、市議会の機能や議会モニターの役割についてオリエンテーションが行われたよ。それじゃあ、議会モニター5名を紹介するよ！



今年度も幅広い世代の方々に、様々な視点で会議の傍聴などをこなっていたとき、議会への率直な声を届けていただきます。いただいたご意見は議会活動の改善や広報広聴活動にも生かしていきま
す。1年間よろしく
お願いします。

市民の声



令和8年5月27日の全国市議会議長会において、齊藤一義議員、福井英昭議員が議員在職15年の功績に対して表彰を受けました。

また、小川克己議長が、全国市議会議長会社会文教委員会委員を務めた功勞により感謝状を受けました。

これに伴い、6月30日の本会議において、表彰状の伝達などを行いました。

本会議を傍聴して

議会も二夕一

齋田隆朗さん

6月議会的一般質問を傍聴しました。全ての質問を聴くことはできませんでしたが、傍聴した数名の議員の質問は、高齢者施策、山間部のインフラ、環境問題など多岐にわたり、亀岡市の地域特性を踏まえた政策提案が行われている印象を受けました。

また、他自治体への行政視察を通じて得た知見や先進事例を積極的に市政へ取り入れようとする姿勢も感じられ、活発な議論が行われていました。

一問一答形式でのやり取りでは、議員・執行部双方の真剣な姿勢や緊張感も伝わってきました。一方で、事前通告された内容について、時間の都合により質問を割愛する場面もあり、限られた時間の中での進行や時間配分については改善の余地があると感じました。



ありがとうございました。

石野 茂副市長が令和8年6月30日をもって
退任されました。副市長就任以来、10年間に
わたり、市政の発展と住民サービス向上のため
に多大なご尽力を賜りましたことに、亀岡
市議会一同、心より感謝申し上げます。
これまでのご功績に深い敬意を表すると
もに、今後のご健勝とご活躍をお祈りいたし

9月議会の予定

[illegible]

※この日程は予定であり、変更となる場合があります。
※その他の委員会などの開催については、随時ホームページに掲載します。